

2015年6月15日

記者発表資料

(公社) 砂防学会東北支部

(公社) 砂防学会東北支部設立について

(公社) 砂防学会東北支部(支部長:岩手大学農学部教授・井良沢道也)が6月1日付けで設立されました。土木学会や地すべり学会など全国的な学会組織では既に東北地方での支部組織を持って活動をしており、砂防学会についても同様な組織を発足させ、積極的な活動を行うこととしました。

東北地方は近年、土砂災害が相次いで発生しており、災害発生後の緊急調査はもちろんのこと、防災教育など平常時の対応も含め、産官学が協働して土砂災害の減災に向けて対応していくこととなります。

- 資料1: 砂防学会東北支部役員名簿 (資料 1-2 )  
資料2: 設立に至る経緯 (資料 1-3 )  
資料3: 平成27年度の事業計画 (資料 1-4 )  
(資料 1-5 新聞記事 )

### ◎東北支部設立の目的

東北地方では、最近の傾向として土砂災害が多発しています。こうした災害に対して事後の対応はなされていますが、事前の対応はなされていないのが現状です。また、天然ダムや深層崩壊対策、地震を外力にした土砂移動現象を対象とした治山・砂防対策を今後、本格的に取り組む必要があります。砂防学会会員はこのような新たな分野への貢献が責務ともいえますが、このような情報について収集・分析することは会員個々にとっては容易とは言えません。

このようなことから、「東北地方の砂防・治山」として計画面や実施面で独自に指針を示すことや技術者研鑽が強く求められてくることが予想され、その実施に関し砂防学会会員に対する期待が大きくなると考えられます。

このようなことから砂防学会に東北支部を設置し、これまで述べた東北地方の課題に対して独自の活動により解決をはかり、社会に貢献してまいります。

### ◎基本方針

- ・3.11 東日本大震災や2008年6.14 岩手・宮城内陸地震による被災地域の復興に寄与する
- ・2013年7月の山形豪雨災害、8月9日の秋田・岩手豪雨災害など近年の集中豪雨による土砂災害へのハード・ソフト両面における対策に貢献する
- ・災害の減災を図ることで東北地方においては高齢化、過疎化の著しい中山間地の振興に寄与する

◎支部設立によるメリット

【会員】

- 産官学の協同による現場研修会が開催できる  
→会員相互の技術を補完することにより技術力の向上が図れる
- 支部活動による若手技術者対象の研修会の開催が容易になる  
→発注者側の若手技術者の育成が図れる  
→若手建設コンサルタント職員の育成が図れる

【東北地方の治山・砂防関係機関】

- 土砂災害・山地災害が発生したとき災害発生後の緊急調査を実施する  
→敏速な調査が可能となる  
→行政への支援と会員の現場技術力の向上に繋がる
- 毎年6月の土砂災害・山地災害防止月間などにおいて広報活動を強化する  
→支部会員による広報活動参加や支援が容易になる  
→月間広報活動等への参加を通して会員自身の意識や技術の向上に繋がる

【その他】

- 東北地区の会員に密着した活動が容易になる  
→治山・砂防技術の広がりが見込まれ、会員個人の技術力の向上も期待される  
→会員の増加が期待できる

-----  
問い合わせ先：

(公社) 砂防学会東北支部

支部長

岩手大学農学部：

岩手大学農学部共生環境課程 治山・砂防分野 教授 井良沢 道也

TEL：019-621-6137 Fax：019-621-6107

副支部長

(株) タックエンジニアリング：

代表取締役 安野 雅満

TEL：019-638-2001 Fax：019-638-2003

担当部長 多田 信之  
-----

## 平成 27・28 年度 砂防学会東北支部 役員名簿

	役職	氏名	所属	役職
1	支部長	井良沢 道也	岩手大学農学部	教授
2	副支部長	桧垣 大助	弘前大学農学生命科学部	教授
3	〃	伊藤 節夫	岩手県農林水産部森林保全課	総括課長
4	〃	檜山 護	岩手県県土整備部砂防災害課	総括課長
5	〃	安野 雅満	(株) タックエンジニアリング	代表取締役
6	支部監事	岡本 隆	国立研究開発法人 森林総合研究所 東北支所	チーム長
7	〃	村上 功	(株) 昭和土木設計	代表取締役
8	運営委員	森 洋	弘前大学農学生命科学部	准教授
9	〃	伊藤 英之	岩手県立大学総合政策学部	教授
10	〃	千葉 則行	東北工業大学工学部	教授
11	〃	川越 清樹	福島大学共生システム理工学類	准教授
12	〃	大野 泰宏	東北森林管理局治山課	課長
13	〃	大場 將	東北地方整備局河川部	広域水管理官
14	〃	山影 修司	東北地方整備局岩手河川国道事務所調査第一課	課長
15	〃	田村 圭司	東北地方整備局新庄河川事務所	所長
16	〃	一戸 文爾	青森県農林水産部林政課	課長
17	〃	福士 祐治	青森県県土整備部河川砂防課	課長
18	〃	佐藤 龍司	秋田県農林水産部森林整備課	課長
19	〃	鎧 藤広	秋田県建設部河川砂防課	課長
20	〃	小澤 幸彦	岩手県農林水産部森林保全課	担当課長
21	〃	戸来 竹佐	岩手県県土整備部砂防災害課	特命課長
22	〃	高橋 壯輔	宮城県農林水産部森林整備課	課長
23	〃	菅野 洋一	宮城県土木部防災砂防課	課長
24	〃	梅津 勘一	山形県農林水産部林業振興課	技術主幹
25	〃	安部 博之	山形県県土整備部砂防・災害対策課	課長
26	〃	鈴木 明	福島県農林水産部森林保全課	課長
27	〃	小川 辰壽	福島県土木部砂防課	課長
28	〃	中島 達也	アジア航測 (株) 東北支社	部長
29	〃	山科 真一	国土防災技術 (株) 東北支社	支社長
30	〃	村松 広久	日本工営 (株) 仙台支店技術第二部	課長
31	〃	近藤 敏光	国際航業 (株) 技術本部 東北技術部	防災担当課長
32	〃	多田 信之	(株) タックエンジニアリング	担当部長
33	〃	八重樫 栄	(株) 昭和土木設計	技術主幹

#### 設立に至る経緯

- ・平成 27 年 2 月 12 日（木） 砂防学会東北支部設立準備会開催  
砂防学会東北支部世話人（有志）の呼びかけにより開催
- ・3 月 支部会員対象者に意向調査  
（支部設立発起人会から調査）
- ・4 月 支部活動に参加表明した支部会員への準備総会開催の連絡
- ・5 月 8 日（金）砂防学会東北支部設立準備総会開催  
13 時 30 分～15 時 農学部 2 号館 1 階 2 号会議室
- ・5 月 9 日（土）砂防学会理事会に申請
- ・5 月 20 日（水）砂防学会総会（宇都宮）で承認
- ・6 月 1 日（月）砂防学会東北支部設立
- ・7 月～8 月 設立総会、セミナー・講演会の実施などを検討中
- ・秋（9 月） 研修会、セミナー、現地検討会（UAV 屋外飛行実証試験）などを検討中

平成 27 年度 事業計画 (案)

1. 支部総会  
平成 27 年 7～8 月  
※セミナー・講演会
2. 土砂災害緊急対応  
適宜
3. 現場見学会  
平成 27 年 9 月
4. 広報
  - (1) 東北支部のホームページ作成
  - (2) 研修、セミナー など